



2021年2月12日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社
代表者 代表取締役社長 丸崎 公康
(コード番号 5707)
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹
(TEL 03-6212-1716)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、本日別途公表いたしました減損損失の計上や最近の業績の動向等を踏まえ、2020年10月23日に公表した2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、以下のとおり1株当たり配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	91,000	4,000	4,200	3,280	241.51
今回修正予想(B)	100,000	4,500	4,500	3,500	257.70
増減額(B-A)	9,000	500	300	220	
増減率(%)	9.9	12.5	7.1	6.7	
(参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	97,445	△14,217	△14,437	△18,364	△1,352.50

② 修正の理由

	前回発表	今回修正	増減額	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	91,000	100,000	9,000	(1)
営業利益	4,000	4,500	500	(2)
（製錬）	4,500	4,700	200	
（資源）	△1,400	△1,700	△300	
（電子部材）	250	250	—	
（環境・リサイクル）	600	950	350	
（その他）	500	700	200	
経常利益	4,200	4,500	300	(3)
当期純利益	3,280	3,500	220	(4)

(1) 売上高

金属相場前提の上昇に伴い増収を見込みます。

(2) 営業利益

金属相場前提の上昇に伴う増益に、市況の下振れ変動に関する一定のリスクを織り込んだ結果、5億円の増益を見込みます。

(3) 経常利益

営業利益の増加に伴い増益となる見込みです。

(4) 当期純利益

C B H社ラップ鉱山で約15億円減損を計上したものの、2021年1月5日に適時開示しましたC B H社保有資産（在豪州非鉄精鉱の港湾荷役事業等）の売却による売却益約30億円を第4四半期に計上することもあり増益を見込みます。

(金属価格・為替の予想前提)

	前回公表	今回公表		
	通期 (予想)	第3四半期累計 (実績)	第4四半期 (予想)	通期 (予想)
亜鉛 LME(US\$/t)	2,225	2,310	2,650	2,395
鉛 LME(US\$/t)	1,737	1,816	1,975	1,856
銀 LDN(US\$/oz)	21.2	21.7	23.0	22.0
為替(¥/US\$)	106.46	106.11	102.00	105.09
為替(US\$/A\$)*	0.68	0.68	0.73	0.69

*：豪州子会社は12月決算であり、第3四半期累計は1月～9月、第4四半期は10月～12月となります。

2. 配当予想の修正

① 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想（2020年5月29日発表）		未定	未定
今回修正予想		50.00	50.00
当期実績	0.00		
前期実績（2020年3月期）	0.00	0.00	0.00

② 修正の理由

前年度は過去最大の赤字を計上したことから、無配とさせていただきました。前述の通り、当期は一定の利益を計上できる目途がつかいましたが、一方で前期に毀損した財務状況は、当期の利益計上はあるものの未だ改善途上であり、今後の経営安定確保及び次期中計への投資原資とするために一定の内部留保も必要なことから、期末においては一株当たり 50 円の配当とさせていただきたく存じます。

3. 説明資料

「Q3 連結累計期間決算及び通期業績予想修正説明資料」を別途 TDnet 及び当社ホームページで開示しておりますのでご参照ください。

（注）上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上